

# 平成 28 年度公益社団法人茨城県青少年育成協会事業報告

## 実 施 事 業 の 概 要

明日の茨城を担う青少年が、健やかにたくましく成長し、自立した個人として社会で一定の役割を積極的に担い、活力に満ちた地域社会を創り上げていくことに貢献していくことは、県民すべての願いです。

この願いの実現を目指し、昭和 42 年に青少年育成茨城県民会議を結成し、青少年の健全育成県民運動を推進してきました。平成 28 年度には協会（平成 26 年(公社)茨城県青少年育成協会に名称変更）設立 50 周年を迎え、青少年健全育成県民運動の更なる推進を図るべく、青少年健全育成県民運動発足 50 周年記念事業として「推進大会」や「少年の主張県大会」等を開催したところであります。

しかしながら、都市化、核家族化、少子化、地域における連帯感や人間関係の希薄化など社会の変化によって、家庭・地域の教育力の低下、貧困家庭の増加等青少年の育成環境は悪化しており、さらに、情報機器の利用環境が大きく変化する中、深刻ないじめ等様々な問題が生じ支援を要する青少年・若者が増えつつあります。

この様に、今日の青少年問題の背景には、大人社会の在り方や家庭における教育の在り方が密接に関係しており、本協会は特に子の教育について基本的役割を担う親に、その責務について一層の自覚と役割を果たすことを願い「親が変われば、子どもも変わる」運動を引き続き育成運動の根幹に据え、次の 7 項目を取り組みの重点目標として、青少年育成市町村民会議や関係機関・団体と連携・協力し各種活動を展開しました。

- 1 「親が変われば、子どもも変わる」運動の推進
- 2 「あいさつ・声かけ運動」や「地域親」普及運動の推進
- 3 「明るく楽しい家庭づくり」運動の推進
- 4 青年リーダー等育成事業の充実・強化
- 5 青少年育成市町村民会議、関係機関、PTA、関係団体等との連携強化
- 6 青少年健全育成県民運動推進体制の充実・強化
- 7 県立青少年会館の運営に関わる事業の充実

- 1 「親が変われば、子どもも変わる」運動の推進では、モデル的な事業を行う団体を公募し、5団体を指定して運動を推進した。また、青少年健全育成県民運動発足50周年記念青少年健全育成茨城県推進大会を開催し功労者表彰を行うとともに、青少年の育成に果たす親、家庭、学校、地域のそれぞれの役割について理解と認識を深め、運動の一層の推進を図った。
- 2 「あいさつ・声かけ運動」では、ポスターを作成するとともに「いばらき教育月間」に呼応し、11月を「あいさつ声かけ運動」強調月間と定め、青少年育成市町村民会議、関係団体、学校等と連携して、運動の一層の推進を図った。
- 3 「明るく楽しい家庭づくり」運動の推進では、「家庭の日」を主題とした絵画やポスターを募集し、優秀作品を青少年健全育成茨城県推進大会会場に展示するなど、「家庭の日」の普及啓発を図った。
- 4 青年リーダー等育成事業の充実・強化では、国際交流に取り組む活動団体を公募し、1団体を指定。若者の国際交流感覚を養うとともに地域活動のリーダー育成に努めた。また、中学生による「少年の主張茨城県大会」を青少年健全育成県民運動発足50周年記念事業として開催し、少年に社会の一員であることの自覚と青少年の健全育成に対する県民の理解と関心を高めた。
- 5 青少年育成市町村民会議、関係機関、PTA、関係団体等との連携強化では、青少年育成市町村民会議等が開催する各種会議、研修会等への参加を通して、情報の提供及び活動の支援を行うとともに、青少年育成活動推進意見交換会を開催し、それぞれの団体の課題等について意見交換を行い、今後の在り方等を検討した。
- 6 青少年健全育成県民運動推進体制の充実・強化では、賛助会員の新たな加入や寄付金の受け入れなどを積極的に推進し、自主財源の確保に努めるとともに、当協会の機関紙「あけぼの」の発行、ホームページの運営、各種リーフレットの作成などにより、青少年育成県民運動の普及に努めた。
- 7 県立青少年会館の運営に関わる事業の充実では、ホームページやリーフレットなどの活用により施設のPRに努めるとともに、特に宿泊室については、インターネット予約サイトの活用や割引料金の適用など、サービスの充実を図り利用増加に努めた。

# 実施事業の内容

## I 県民運動推進事業

### ◎ 県青少年育成協会の組織体制

役員	会長	1名	副会長	7名				
	理事	29名	(会長、副会長を含む。)					
	監事	2名						
事務局職員	局長	1名	係長	1名	主任	1名	主事	1名
	常勤嘱託員	1名	臨時職員	1名	非常勤嘱託員	5名		

### 1 役員等に関する事項

#### (1) 総会等

##### ①平成28年度定時総会

- ・開催日 平成28年6月24日(金)
- ・会場 県立青少年会館(水戸市)
- ・議事 平成27年度事業報告・収支決算、役員を選任
- ・出席正会員 102名中85名(書面表決者44名を含む)
- ・平成27年度事業報告並びに収支決算を承認するとともに役員を選任について議決した。
- ・平成27年度青少年の健全育成に多大な成果をあげた5団体へ感謝状を贈呈した。

#### (2) 理事会等

##### ①第1回理事会

- ・開催日 平成28年6月3日(金)
- ・会場 県立青少年会館(水戸市)
- ・議事 定時総会に上程する議案、法人運営等
- ・出席理事 29名中21名 ・出席監事 2名中1名
- ・平成28年度定時総会付議事項等について審議し議決した。

##### (議案)

平成28年度事業報告並びに収支決算について

平成28年度定時総会の開催について

- ・事業の執行状況、感謝状の贈呈及び正会員の変更について報告した。

##### ②第2回理事会(定時総会終了後に開催)

- ・開催日 平成28年6月24日(金)
- ・会場 県立青少年会館(水戸市)
- ・議事 会長及び副会長の選定について
- ・出席理事 29名中20名
- ・定時総会で選任された役員の中から会長副会長を選定し議決した。

### ③第3回理事会

- ・開催日 平成28年12月16日(金)
- ・会場 県立青少年会館(水戸市)
- ・議事 「青少年健全育成県民運動発足50周年記念」青少年健全育成茨城県推進大会における「大会宣言」について
- ・出席理事 29名中18名
- ・「青少年健全育成県民運動発足50周年記念」青少年健全育成茨城県推進大会における「大会宣言」について議決した。
- ・推進大会の運営、功労者表彰及び記念誌の発行について報告した。

### ④第4回理事会

- ・開催日 平成29年3月9日(木)
- ・会場 県立青少年会館(水戸市)
- ・議事 平成29年度活動方針並びに事業計画(案)、平成29年度収支予算(案)、名誉会長、顧問及び参与の推薦について
- ・出席理事 29名中24名
- ・平成28年度活動方針並びに事業計画(案)、平成29年度収支予算(案)、について審議し議決した。
- ・名誉会長の推薦、顧問及び参与の推薦について審議し議決した。
- ・事業の執行状況、「家庭の日」絵画・ポスター応募状況と優秀作品及び青少年会館の利用状況について報告した。

### ⑤役員連絡会議

#### [第1回]

- ・開催日 平成28年4月19日(火)
- ・会場 県立青少年会館(水戸市)
- ・議事 青少年健全育成県民運動発足50周年記念事業及び市町村民会議会長・事務局長・青少年行政担当者等研修会について
- ・出席理事 12名
- ・記念誌の作成、青少年団体等顕彰・青少年育成功労者表彰、青少年健全育成茨城県推進大会及び市町村民会議会長・事務局長・青少年行政担当者等研修会について協議した。

#### [第2回] (市町村民会議会長・事務局長・青少年行政担当者等研修会終了後に開催)

- ・開催日 平成28年5月27日(金)
- ・会場 県立青少年会館(水戸市)
- ・議事 第1回理事会等に上程する議案及び記念誌の作成について
- ・出席理事 10名
- ・第2回理事会等に上程する議案及び記念誌の作成について協議した。

#### [第3回] (第1回理事会終了後に開催)

- ・開催日 平成 28 年 6 月 3 日(金)
- ・会場 県立青少年会館(水戸市)
- ・議事 記念誌の作成について
- ・出席理事 10 名
- ・記念誌の作成について協議した。

[第 4 回]

- ・開催日 平成 29 年 2 月 24 日(金)
- ・会場 県立青少年会館(水戸市)
- ・議事 第 4 回理事会に上程する議案等について
- ・出席理事 11 名
- ・第 4 回理事会に上程する議案及び青少年育成活動推進意見交換会について協議した。

⑥監査

- ・開催日 平成 28 年 5 月 31 日(火)
- ・会場 県立青少年会館(水戸市)
- ・宮島孝明監事、佐藤政雄監事による平成 27 年度事業報告及び決算について監査を行った。

## 2 県民運動推進事業

### (1) 青少年育成活動推進意見交換会

#### ①第 1 回

- ・開催日 平成 28 年 6 月 24 日(金) (定時総会前に開催)
- ・会場 県立青少年会館(水戸市)
- ・出席者数 136 名
- ・講演 (青少年健全育成県民運動発足 50 周年記念事業)  
     演題 茨城県の「介護予防」～シル・リハ体操で日本一の健康県を目指す～  
     講師 県立健康プラザ管理者・県立医療大学付属病院名誉院長  
           医学博士 大田 仁史 先生

#### ②第 2 回

- ・開催日 平成 29 年 3 月 29 日(水)
- ・会場 県立青少年会館(水戸市)
- ・出席者数 77 名
- ・平成 29 年度活動方針並びに事業計画・収支予算について説明した。
- ・青少年健全育成茨城県推進大会の開始時間について協議した。
- ・少年の主張茨城県大会主張文の応募締切について意見を伺った。
- ・県青少年育成協会への要望、実施事業に対しての意見交換を行った。

### (2) 広報活動

青少年育成県民運動を広報啓発するため、ホームページ、機関紙等の各種媒体を活用して広報活動を行った。

機関紙「あけぼの」

第129号 平成29年3月発行 12ページ 7,000部

配付先 市町村、市町村民会議、正会員、賛助会員、県等関係機関・団体、都道府県民会議等

### (3) 各種表彰

#### ①青少年団体等顕彰（青少年健全育成県民運動発足50周年記念事業）

地域で地道に優れた活動を展開している青少年団体、青少年、青少年育成団体及び青少年育成指導者を表彰し、その活動を奨励した。

顕彰件数 25件（青少年団体6団体 青少年4名 青少年育成団体3団体 青少年育成指導者12名）

#### ②青少年健全育成功労者表彰（青少年健全育成県民運動発足50周年記念事業）

青少年健全育成県民運動に顕著な功績のあった法人、団体及び個人を表彰した。

表彰件数 53件（県民運動功労者6法人団体 賛助会員として県民運動功労者26法人団体・15名個人、協会役員として県民運動功労者6名）

・「青少年団体等顕彰」及び「青少年健全育成功労者表彰」選考委員会  
平成28年12月16日（金）県立青少年会館で開催 選考委員7名出席

・「青少年団体等顕彰」及び「青少年健全育成功労者表彰」表彰式  
平成29年2月2日（木）県立県民文化センターで開催 約1,500人出席

#### ③感謝状贈呈

青少年育成県民運動に貢献した団体等へ感謝状を贈呈した。

贈呈式 平成28年6月24日（金）（定時総会時に開催）

贈呈件数 平成27年度「親が変われば、子どもも変わる」運動推進事業を実施した5団体

### (4) 会議等への出席

青少年育成県民運動の連携を図るため、県関係機関、団体が行う青少年健全育成関係諸会議、大会等へ出席・参加し、協力・連携を深めながら効果的な運動の推進を図った。

また、22の機関、団体の事業に対し後援を行った。

### (5) 青少年心理アドバイザーの派遣

青少年育成者の資質向上と地域活動の促進を図るため、青少年心理やカウンセリング等に専門的な技術や知識を有する「青少年心理アドバイザー」を、地域で開催する研修会等へ派遣した。

・青少年心理アドバイザー 13人（登録）

・派遣 6回

(6) 青少年関係事業の相談等

青少年団体活動、青少年育成活動に関する相談に応じたほか、研修会等への講師の派遣、幹旋を行った。

3 青少年育成県民運動の周知強化事業

青少年育成県民運動の充実と一般県民等へ更なる周知を図るため、賛助会員及び事業協賛金等の募集活動を行った。

(1) 新賛助会員の確保

実績 31,000 円（新規加入 個人 5 口 特別賛助会費 16 口）

(2) 協賛金・活動助成金等の受入

協賛金	水戸西ライオンズクラブ	50,000 円
	日本たばこ産業株式会社東関東支社	100,000 円
活動助成金	ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区	300,000 円
	株式会社坂本計理事務所	30,000 円
	中嶋 正昭（那珂市）	100,000 円
	鈴木 正二（日立市）	100,000 円
	石津 博康（鹿嶋市）	100,000 円

(3) 青少年健全育成県民運動発足 50 周年記念誌の発行（青少年健全育成県民運動発足 50 周年記念事業）

平成 29 年 3 月発行 発行部数 1,000 部

配付先 市町村、市町村教育委員会、市町村民会議、正会員、賛助会員、県関係機関・団体、県内の図書館等

## II 地域活動推進事業

1 市町村民会議活動の推進

地域において青少年育成運動を総合的に推進している市町村民会議等の活動と組織充実のために支援を行った。

(1) 市町村民会議活動の支援

市町村民会議の活動が促進されるよう市町村民会議の総会、研修会等に出席したほか、講師を派遣するなどして活動の支援を行った。

(2) 市町村民会議の結成促進

市町村民会議未結成市町へ訪問し結成促進を図った。

・訪問市町 神栖市

(3) 地区市町村民会議連絡会活動の支援

①地区市町村民会議連絡会の活動充実を図るため、各地区で開催される研修会(情報交換会等)に 1 万円の助成を行った。(28 年度事務局)

- ・水戸地区青少年育成市町村民会議連絡会（笠間市）
- ・大宮地区青少年育成市町村民会議連絡会（東海村）
- ・県北地区青少年育成市町村民会議連絡会（常陸太田市）

- ・鹿行地区青少年育成会連絡会（潮来市）
- ・土浦地区青少年育成市民会議連絡会（石岡市）
- ・稲北地区青少年育成市町村民会議連絡会（阿見町）
- ・県西東部地区青少年育成市町民会議連絡会（筑西市）
- ・県西西部地区青少年育成市町民会議連絡会（五霞町）

②地区市町村民会議連絡会の総会、研修会に出席しての活動の支援を行った。

## 2 市町村民会議会長・事務局長・青少年行政担当者等研修会

平成 28 年 5 月 27 日(金) 県立青少年会館で開催 30 市町村、102 名出席

内容 ○平成 28 年度青少年育成県民運動推進の説明

- ・県青少年育成協会の実施事業

○青少年育成活動事例発表

- ・茨城町子ども会育成連合会(茨城町)
- ・緑岡地区青少年育成会(水戸市)
- ・青少年を育てる石岡市民の会東支部(石岡市)

○情報交換昼食会

○情報提供 「青少年非行の現状」

講師：水戸少年鑑別所長・法務少年支援センターみと

吉田 智子 様

## 3 青少年育成市町村民会議訪問懇談会

当協会役職員が市町村民会議を訪問し、青少年育成活動の進め方等について関係者と意見交換を行い、県民運動の普及と市町村民会議の活動促進を図った。

懇談会実施市町村民会議

- ・青少年育成岩間地区市民の会（笠間市）

平成 28 年 12 月 16 日(金) 笠間市岩間公民館で開催 14 名出席

- ・青少年育成五霞町民会議(五霞町)

平成 29 年 1 月 11 日(水) 五霞町教育委員会教育長室で開催 6 名出席

- ・青少年育成桜川市民会議(桜川市)

平成 29 年 2 月 17 日(金) 桜川市ふれあいセンター「シトラス」で開催  
23 名出席

## Ⅲ 青少年健全育成事業

### 1 少年の主張茨城県大会（青少年健全育成県民運動発足 50 周年記念事業）

少年の社会への関心や視野を広めるとともに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力などを図るため、県内中学生から主張文を募集し、優秀者 10 名が発表する県大会を開催した。



主張発表記録集を作成し中学校等に配付した。

また、全国大会出場候補者として、最優秀者（茨城県知事賞受賞者）を関東甲信越静岡ブロック審査（書類審査）へ推薦した。

- ・発表大会 平成 28 年 9 月 24 日(土) 常陸太田市交流センター「ふじ」で開催
  - ・参加者 約 500 人（市内中学生、市町村民会議、青少年育成関係者等）
  - ・応募者総数 17,467 名（152 中学校、35 市町村）
  - ・県青少年育成協会への推薦 271 作品
  - ・最優秀者（茨城県知事賞） 常陸太田市立太田中学校 3 年 古川 時丸
  - ・発表記録集の作成 1,500 部
- 配付先 中学校、市町村教育委員会、市町村民会議、正会員、県関係機関・団体等

## 2 青少年・若者国際交流事業(青少年健全育成県民運動発足 50 周年記念事業)

日本の伝統文化や郷土愛を醸成し、青少年や若者の国際感覚を養うとともに、地域活動のリーダーとして育成するため、国際交流に取り組む活動団体を公募、指定し、1 団体へ助成金 100 万円を交付し、事業を実施した。

- ・実施団体 龍ヶ崎市国際交流協会ジュニア会議
- ・参加者数 青少年：女性 6 名（中学生 3 名、高校生 3 名）  
引率者：男性 1 名、女性 5 名（うち看護師 1 名）
- ・研修内容 ○海外研修 平成 29 年 3 月 25 日(土)～30 日(木)  
訪問国 スリランカ民主社会主義共和国  
内 容 日本語学校や女子一貫校において現地青少年との交流、孤児院施設訪問など
- 事前研修① 平成 28 年 11 月 13 日(日)  
事前研修② 平成 28 年 12 月 18 日(日)  
内 容 語学研修、地理・文化勉強会など
- 国内活動 平成 28 年 10 月 16 日(日)  
内 容 ジュニア会議メンバーが企画したスポーツを通じた外国人との交流

## IV 明るく楽しい家庭づくり・「地域親」推進事業

### 1 「親が変われば、子どもも変わる」運動の推進

(1) 「親が変われば、子どもも変わる」運動推進事業（青少年健全育成県民運動発足 50 周年記念事業）

家庭の親一人ひとりが改めて自らを振り返り、子育てについての意識を新たにし、子どもたちの手本になれるような活動の実践を促すため、親子がふれあいながら絆を深め、豊かな心と健やかな身体を育むことを目的として、本運動の普及啓発に取り組む団体を公募し、5 団体を指定するとと

もに1団体10万円を限度として助成し事業を実施した。

また、事業内容を機関紙「あけぼの」及びホームページ等で紹介した。

No.	実施団体 (所在地)	事業名
1	水戸更生保護女性会 (水戸市)	「親子でながらスマホ0」を めざそう！
2	特定非営利活動法人ひたち親子の広場 (日立市)	親子で笑顔！どならない子育て ～「それだん」講座～
3	結城市立城南小学校PTA (結城市)	親子芸術鑑賞会
4	青少年育成銚田市民会議旭西地区協議会 (銚田市)	サマーキャンプ in 西大砂
5	ポポロアメニティー館 (小美玉市)	親子ふれあい うどん作り

○推進事業審査委員会 平成28年7月6日(水) 県立青少年会館

○事業推進会議の開催 平成28年7月15日(金) 県立青少年会館

## (2) 「親が変われば、子どもも変わる」運動の普及啓発

① 「親が変われば、子どもも変わる」運動リーフレット(改訂版)の作成

・作成部数 10,000部

② 青少年のお手本となるべき大人へ公共マナー(歩きスマホ)について、茨城県等が主体となって実施した啓発キャンペーンにて、リーフレット「親が変われば、子どもも変わる」運動の配布等により、「ながらスマホ0(ゼロ)県民運動」を啓発した。

## 2 「地域親」普及運動の推進

### (1) 「地域親」実践活動である「あいさつ・声かけ運動」の推進

地域の大人と子ども、大人同士、子ども同士のコミュニケーションを広げる「きっかけ」とするため、家庭、学校、地域の中で日々「あいさつ・声かけ」が交わされるよう、県民や関係機関・団体への普及啓発に取り組むとともに、青少年育成市町村民会議等が推進主体になって地域で運動を展開するよう支援した。

① 「あいさつ・声かけ運動」ポスターの作成

11月の「あいさつ・声かけ運動」強調月間に向けてポスターを作成し、市町村及び関係機関・団体等へ配付して、「あいさつ・声かけ運動」の普及・啓発を図った。

○ ポスター作成 B2版 3,000枚

○ チラシ作成 A4版 15,000枚

○ 配付先 市町村(公共機関を含む) 保育所 幼稚園 小・

中学校、高等学校 大学 関係機関・団体 企業等

②「あいさつ・声かけ運動」強調月間街頭キャンペーン

「あいさつ・声かけ運動」街頭キャンペーンを茨城県教育委員会が行う「いばらき教育の日・教育月間キャンペーン」、「さわやかマナーアップキャンペーン」と連携し、広く県民に「あいさつ・声かけ運動」を周知するとともに県民自ら実践するよう呼びかけた。

実施場所	期 日	時 間	参加者
水戸駅	11月 1日(火)	7時20分～8時30分	249
日立駅	11月 1日(火)	7時15分～8時30分	146
十王駅	11月 1日(火)	7時15分～8時30分	111
常陸多賀駅	11月 2日(水)	7時15分～8時30分	30
小木津駅	11月 2日(水)	7時15分～8時30分	49
大みか駅	11月 4日(金)	7時15分～8時30分	20
新鉾田駅	11月 4日(金)	7時10分～8時30分	30
土浦駅・荒川沖駅・ 神立駅	11月 1日(火)	7時20分～8時50分	350
下館駅	11月 8日(火)	7時20分～8時20分	103
つくば駅	11月 7日(月)	7時20分～8時00分	120
守谷駅	10月 24日(月)	7時15分～8時10分	200

※参加者は、「さわやかマナーアップキャンペーン」「いばらき教育の日・教育月間」キャンペーン 関係を含む全体参加者数

③啓発資料の作製

11月の強調月間活動用のぼり旗及びポケットティッシュについて市町村、市町村民会議等との共同作製を斡旋した。

・のぼり旗の作製

共同作製 17市町村 (23団体) 計 1,642枚

・ポケットティッシュ 15,500個 (街頭キャンペーンで配布)

共同作製 17市町村 (20団体) 計 52,500個

(2) 地域親の登録と派遣

地域親の普及と地域活動の一層の推進を図るため、平成17年度に設置した「青少年を育む地域親人材バンク」を運営し、地域が開催する行事や研修会等に派遣した。

地域親登録者 192人

団体登録 12団体 94人

個人登録 98人

3 明るく楽しい家庭づくり運動の推進

(1)「家庭の日」の推進

家族の絆を深め、家庭を大切にし、明るく豊かな家庭を築く「家庭の日」(第3日曜日)を推進した。

①「家庭の日」絵画・ポスターの募集

市町村を単位に小学生の部、中学生の部、各3作品以内として募集を行った。

応募のあった作品は、青少年健全育成茨城県推進大会会場に展示し、大会参加者が選定した最優秀作品6作品を機関紙「あけぼの」及びホームページで紹介し、「家庭の日」の普及を図った。

○応募状況

- ・市町村応募数 (25市町村)

小学生の部 3,593作品 中学生の部 776作品 合計 4,369作品

- ・県青少年育成協会への推薦

小学生の部 72作品 中学生の部 44作品 合計 116作品

○「家庭の日」絵画・ポスター展示

- ・平成29年2月2日(木)

茨城県立県民文化センター「大ホールロビー」

(青少年健全育成茨城県推進大会会場)

4 青少年健全育成茨城県推進大会(青少年健全育成県民運動発足50周年記念事業)

子育て中の親や青少年育成関係者が一堂に会し、「親が変われば、子どもも変わる」運動推進事業など実践活動の発表や講演を通して、親や大人のあり方、そして子どもへの地域の関わりについて考えるとともに、青少年の健全育成に向けての理解と地域親の普及啓発を図るため、推進大会を開催した。

主催 茨城県(公社)茨城県青少年育成協会 青少年育成市町村民会議

日時 平成29年2月2日(木) 10:00~15:30

会場 茨城県立県民文化センター大ホール

参加者 青少年育成関係者 PTA・学校関係者 幼稚園・保育所関係者  
青少年地域活動団体 県・市町村行政担当者 一般県民等  
約1,500人

内容 ○表彰

青少年団体等顕彰

青少年健全育成功労者表彰

○中学生の主張発表

発表者 古川 時丸 常陸太田市立太田中学校3年

小林 美羽香 下妻市立千代川中学校3年

浜野 陽香 茨城県立並木中等教育学校2年

○実践活動発表

「親が変われば、子どもも変わる」運動推進事業 発表

発表団体 水戸更生保護女性会

○ アトラクション

Happiness コンサート

水戸女子高等学校吹奏楽部 演奏

○ 講演

演題 子どもの未来に向かって共に歩む

講師 東北福祉大学 特任教授 草間 吉夫 氏

○ 大会宣言

## V 非行防止・社会環境浄化推進事業

### 1 薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の推進

茨城県及び茨城県薬物乱用防止指導員協議会が主体となって実施する「ダメ。ゼッタイ。」普及運動に市町村民会議と共に参加協力した。

(1) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 6.26 ヤング街頭キャンペーンへの参加活動

- ・実施日 平成28年6月26日(日)を中心に実施
- ・場所 県内12地区

(2) 「ダメ。ゼッタイ。」看板設置による広報啓発活動

薬物乱用防止を啓発する看板を県立青少年会館に設置して広報啓発活動を行った。

### 2 未成年者の喫煙防止活動の推進

茨城県未成年者喫煙防止対策協議会が主催となり、国県関係機関、市町村民会議、県青少年相談員連絡協議会、県更生保護女性連盟、茨城県たばこ販売協同組合、日本たばこ産業(株)東関東支社等とともに未成年者喫煙防止街頭キャンペーンを行い、未成年者の喫煙防止啓発活動の推進を図った。

- ・実施日 平成28年7月7日(木)
- ・場所 水戸駅 日立駅 土浦駅 下館駅 古河駅 取手駅  
鹿島神宮駅 勝田駅

### 3 「いばらき青少年・若者プラン」に呼応した活動の推進

茨城県等が主体となって実施した「茨城県フィルタリング普及啓発推進月間」・「春のあんしんネット・新学期一斉行動」周知啓発街頭キャンペーンに参加協力し、有害情報から青少年を守るフィルタリング普及啓発活動を推進した。

- ・実施日等 平成28年4月24日(日) 県立カシマサッカースタジアム  
(鹿嶋市)  
平成29年3月4日(土) ケーズデンキスタジアム水戸(水戸市)

#### 4 安全なまちづくり県民運動の推進

茨城県安全なまちづくり推進会議が主体となって実施するキャンペーンに参加協力した。

- ・実施日等 平成 28 年 4 月 20 日(水) 春の地域安全運動キャンペーン
- 平成 28 年 6 月 9 日(木) 「ロックの日」街頭キャンペーン
- 平成 28 年 10 月 11 日(火) 安全なまちづくりキャンペーン
- 平成 28 年 11 月 25 日(金) 「犯罪被害者週間」キャンペーン

### VI 青少年会館運営事業

#### 1-1 茨城県立青少年会館（研修室）の運営

指定管理者である茨城県立青少年会館において、青少年及び若者の研修、学習、その他の活動を促進することを目的とする施設貸与を行った。

- (1) 研修室及びアイルームの貸出業務及び広報活動の実施
- (2) 青少年等に対する低料金での施設貸与（フリースペースは無料）
- (3) 青少年利用に限定した1年前からの予約受付期間の設定

#### 1-2 茨城県立青少年会館（研修室）の運営<収益事業>

指定管理者である茨城県立青少年会館において、青少年等以外に対する施設貸与を行った。また、利用者に対してコピーサービスや食事提供の斡旋等、サービス向上のための事業を実施した。

	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
1-1 青少年等利用件数	616 件	431 件	70.0%
1-2 一般(青少年等以外)利用件数	2,451 件	2,278 件	92.9%
合 計	3,067 件	2,709 件	88.3%

#### 2-1 偕楽園ユースホステル（宿泊室）の運営

指定管理者である偕楽園ユースホステルにおいて、青少年及び若者の健全な旅行を励行し、規則正しい行動を習得させることを目的とする施設貸与を行った。

- (1) 偕楽園ユースホステルの貸出業務及び広報活動の実施
- (2) 青少年等に対する低料金での施設貸与（引率料金の適用など）
- (3) 青少年利用に限定した1年前からの予約受付期間の設定
- (4) 夏休み期間中の休館日における臨時営業の実施

#### 2-2 偕楽園ユースホステル（宿泊室）の運営<収益事業>

指定管理者である偕楽園ユースホステルにおいて、青少年等以外に対する施設

貸与を行った。一般利用に割引料金を適用して利用者増に努めるとともに、壁紙・畳交換工事、浴室改修工事などを行った。

	平成 27 年度	平成 28 年度	前年度比
2-1 青少年等利用人数	1,784 人	1,528 人	85.7%
2-2 一般(青少年等以外)利用人数	1,673 人	1,581 人	94.5%
合 計	3,457 人	3,109 人	89.9%

### 3 青年リーダーの養成に関する事業

#### (1) 若者ボランティアチーム「いばらきユースプロジェクト」の設置運営

青年たちが自主的な地域活動を通して仲間作りや達成感を体験することで成長し、地域における青年活動のリーダーとなる人材を育てることを目的に「いばらきユースプロジェクト」を組織してボランティア活動を行った。

##### ①結団式及びチームビルディング研修

実施日 平成 28 年 6 月 5 日(日)

場所 茨城県立青少年会館

内容 結団式を行って活動をスタートさせるとともに、県政出前講座やチームビルディングワークショップを実施し、スキルアップを図った。

##### ②第 1 回実地見学(県北地域)

実施日 平成 28 年 7 月 10 日(日)

場所 常陸大宮市・大子町・常陸太田市

内容 「かわプラザ」や久慈川、不動滝を訪れて自然を体感したあと、大子町で農業を行う女性農業家や常陸太田市で水耕栽培を行う若手農家を訪れ、話を伺った。

##### ③第 2 回実地見学(県央地域)

実施日 平成 28 年 9 月 18 日(日)

場所 水戸市・笠間市

内容 水戸市で開催された「ザ☆リノベマーケット」「あおぞらクラフトいち」を視察し、地域イベントの経験談などを伺った。また、笠間市のコミュニティーカフェ「カフェ ナナイロ」を訪問し、地域におけるコミュニティー作りについて学んだ。

##### ④自主企画「県産品を使った汁物の販売」の実施

実施日 平成 29 年 2 月 5 日(日)

場所 水戸市青柳公園

内容 県産の食材をふんだんに使った味噌汁を「ぶつつまり汁」と名

付けて、茨城ロボッツ（プロバスケットボールチーム）の試合会場にて販売をした。

⑤成果報告

第1回、第2回の実地見学などでメンバー行ったインタビューをまとめ、ホームページに公開した。

4 青少年及び青年の交流活動を支援するための事業

(1) キッズアトリエの開催

青少年が美術や工芸などの分野を通して感性や好奇心を育み、また学校や地域の枠を超えた同世代の子ども同士で交流を図り、協調性と好奇心を育てる機会を創出するため、体験教室を実施した。

実施日 平成28年8月27日(土)、28日(日)

場所 茨城県立青少年会館

参加 小学校4年生～6年生 20名

内容 1日目で江戸文字の専門家をお招きして基礎練習を行い、2日目で茨城の伝統工芸である水府提灯の制作を行い、1日目で練習した江戸文字を書いてオリジナルの提灯を完成させた。